



# 年中夢求・夢の実現

## 宜野湾中学校だより



学校長：宮里 里加子

令和8年度

VOL.

5

30 JUN. 2026

### 朝の「ゆとり」が、自分と周りを大切にできる第一歩

みなさんは朝の「8時10分」という時間をどのように迎えているでしょうか。学校では現在、「8時10分までには教室に入り、身の回りを整えて、15分にはみんなでき持ちよく朝の活動をスタートしよう」と呼びかけています。

しかし、現在の宜野湾中では、この10分にゆとりを持って登校することが難しい生徒が少なくないのが、いまの私の一番の悩みです。

※8時8分以降に正門をくぐる生徒の人数

6/11	6/12	6/15	6/16	6/17	6/18	6/19	6/22	6/24	6/25
木	金	月	火	水	木	金	月	火	水
86人	93人	101人	100人	71人	48人	67人	80人	85人	65人

はテスト期間  
テストへの準備心が見られました

実は、私が10年前に本校に赴任していた頃は、この時間に遅れる生徒はクラスに1人いるかいないかで、ゼロの日も珍しくありませんでした。だからこそ、みんなで揃って「おはようございます！」と素晴らしいスタートを切る「あたりまえの風景」を、もう一度みんなと一緒に作っていきたくて願っています。

### 「時間を守る」ということの本質

私がみなさんに強く願っているのは、「時間を大切にできる人」、そして同時に「人を大切にできる人」になってほしいということです。

人と人が共に心地よく過ごすためには、たくさんのマナーやルールがあります。その中でも「時間を守る」というのは、最も基本的で、最も大切な「礼儀」のひとつです。

「たかだか1分や5分の遅れくらい、いいじゃないか」「15分の遅刻ではないし」と思う人がいるかもしれません。しかし、ここで考えてみてほしいのは、遅れる長さそのものよりも、その背景にある「このくらい待たせても平気だろう」「誰かが待ってくれるから大丈夫」という、ほんの少しの「甘えの意識」です。

誰かが遅れることで、クラス全員のせっかくの建設的な時間が止まってしまいます。大人の世界では、時間を守らないことは、それまで築いてきた「信用」を一瞬で失うことにつながります。そして、一度失った信用を取り戻すには、遅れた時間の何倍、何十倍もの努力と時間が必要になります。

時間を守る人は、自分を律することができる格好いい人です。

まずは明日から、自分の「心の判断基準」を見つめ、自分の心の「甘え・弱さ」に打ち勝ち、時間厳守を意識してみませんか？朝の5分のゆとりが、みなさんの一日をきっともっと素晴らしいものに変えてくれます。

保護者の皆様におかれましても、お子様が朝のゆとりを持って登校できるよう、ご家庭での朝の声かけや生活リズムづくりへの温かいサポートをよろしくお願いいたします。

### 時間を守ることで得られる「3つのメリット」

時間を守る習慣をつけることは、みなさんの未来を助ける最高のスキルになります。

#### ① 社会で信頼される「最高の武器」になる

社会では、成績よりも「信頼」が武器になります。

時間を守ることは社会人として下最も信頼される重要なスキルの1つです。「仕事を任せられる大人」としての最強のベース作りをしましょう。



#### ② 周りとの強い「信頼関係」が生まれる

遅刻しないことは、言葉を使わずに伝わる「誠実さ」です。

時間を守ることは相手の時間を自分の時間と同じように「大事にしているよ」というメッセージになります。だからこそ信頼されます。



#### ③ 「自分をコントロールする力」が身につく

最も大きなメリットは、自分自身の内面にあります。

「朝起きる」「5分前に行動する」日々の小さな心がけの積み重ねが自分の人生を自分でコントロールする自律する力となります。

